

六原まちづくり委員会
令和 5 年度事業報告書

報告期間：令和 5 年 6 月 1 日～令和 6 年 5 月 31 日

【1. 具体的な活動内容】

まちの総合戦略を手がける第 1 部会と、主に防災観点の取組を手がける第 2 部会を設置し、以下の活動を行った。

2 部会共通事項

学識経験者・各種専門家を交え、表に示す回数の検討会議を実施した。

	コアメンバー会議	部会会議
第 1 部会	1 1 回 別途 続空き家の手帖打ち 合わせ 1 回	9 回 別途 住まいの応援談 1 回 ご近所映画倶楽部 1 回
第 2 部会	1 回	4 回 別途 住まいの応援談 1 回 ご近所映画倶楽部 1 回

第 1 部会

空き家対策による人口流出の抑制対策発信力強化、及び流入人口の増加対策を主眼に、まちの総合戦略を検討する第 1 部会では、空き家発生の抑制対策として地区住民に学識経験者・各種専門家を交えて検討会議を対面と zoom を使ったオンラインを併用したハイブリッド会議を開催し地区の空家状況等の情報を共有した。部会会議ではオンラインを併用しつつも対面会議の割合を増やすことで地域住民のコミュニケーションを活性化させる方向にシフトしていった。

六原まちづくり委員会に参加する外部専門家を中心として、新たに住まいの終活をコンテンツとした「(仮称) 続・空き家の手帖」を作成するために、次年度映像化を念頭にコア会議で内容についての検討をおこない、部会会議ではワークショップを通じて相続時困ったこと等の調査をおこないシナリオづくりのヒントを集めるようにした。

今年度の六原・住まいの応援談は「地域が主体的に動画配信するまちプロジェクト 動画づくりレクチャー&上映会」をテーマとしたセミナーを 11 月 30 日に開催した。住民

参加型情報発信研修ワークショップとして、映像作成ワークショップの専門家を講師に招き対面での映像作成の指導を受け、実際に地域住民や専門家、学生と一緒に、地域団体の活動を外部に向けて発信できる動画の作成過程を学んだ。

このワークショップを受けて体験型ワークショップとして「ご近所映画倶楽部」を1月21日に開催した。当日のシナリオ作成、撮影、参加者の全員の動画出演という形式で短時間での動画作成を体験してもらった。参加者を3つのグループに分け3本の動画を作成し、当日に上映会を開催した。

第1部会では、空き家の発生スピードに空き家利活用のスピードがついていかず、宿泊施設過剰によるゲストハウス需要の減少もあり、更に独居高齢者が多い地域性からも、今後ますます空き家が増えていくことに対し、どのような対策が有効かについて議論を重ねた。その結果、空き家になってから時間をおかず利活用や流通できる仕組み作りの必要性を痛感し、空き家の発生予防に注力することにした。

第2部会

第2部会では、住んでよかった町をテーマに、ハード、ソフト両面の取組を地域住民や外部の専門家・行政と共に取り組んできた。本年度はコロナによる活動制限も原則解除されたため防災まちあるき（地域ローラー）や学区総合防災訓練また11月の六原フェスタを利用した防災まちづくりブースの設置などの活動を全面的に再開することが出来た。

また、前年から継続して京都美術工芸大学（生川慶一郎教授とゼミ学生）の協力による「六原あんぜんあんしんマップ」の改訂のためのフィールドワークに基づく地域の集合場所や問題地点の把握、その他路地名の由来などをグーグルマイマップに反映し、スマホで閲覧可能となるよう作業を行い、六原フェスタの会場において多くの来場者に実際に試してもらうことが出来、結果として地域の防災活動に関心が薄かった子供や高齢者にも興味を持ってもらうことが出来た。昨年度より開始したブックカバープロジェクトも新たに追加4種類を作成し、区役所、図書館や児童館などにも配架することが出来た。4年ぶりとなった総合防災訓練では学区の防災計画全般に関して参加者にプレゼンテーションを行い計画の周知を行った。さらに、空き家・高齢者部会の「住まいの終活」に、防災部会からも合同参加で取り組んだ。

【2. 活動の成果】

第1部会

宿泊施設、店舗の地域連携の取り組みの意識調査を実施した。宿泊施設、店舗の約半数を地域住民が運営しており残りの半数が地域外の人が運営していることが分かった。数値としては地域外の人の方が地域連携の取り組みに興味を持っているという結果がでていますが、アンケートの中ですでに取り組みをしている、取り組みをするだけの余裕がないといったものもあったため数値を直接結果結びつけることはできないが少なくとも地域外の方の7割程度は地域連携に対して興味を持っているということは確認できた。

「(仮称) 続・空き家の手帖」を作成するためのコア会議では空き家になる前に予防の大事さを共有することができ、部会会議でのワークショップでは空き家予防の解説や地域住民の相続の時に困った事例を通して空き家予備軍に対する知識の共有ができた。

地域住民向けセミナー「地域が主体的に動画配信するまちプロジェクト 動画づくりレクチャー&上映会」を開催し、36名が参加し地域住民にも多く参加していただいた。住民参加型情報発信研修ワークショップを行ったことで、地域住民が情報発信する手段としての映像作成のきっかけをつくり「地域が主体的に動画配信するまちプロジェクト」を一步すすめることができ、次の体験型ワークショップである「ご近所映画倶楽部」にもつなげることができた。「ご近所映画倶楽部」は20名が参加し地域の方と委員会メンバーと一緒に動画をつくることで地域の交流を深めることができた。また現在、動画による情報発信をしている「六原ちゃんねる」のコンテンツも増やすことができ六原まちづくり委員会の情報発信の強化につながった。

第2部会

2020年以降コロナの影響により実施出来ていなかった学区総合防災訓練を4年ぶりに開催することが出来た。また昨年は屋内開催に留めた六原フェスタを、グラウンドを使用する本来のフル展開に戻すことが出来、防災まちづくりブースにおいてグーグルマイマップを利用した地震の集合場所や路地銘板の由来など地域の情報を、スマホを使って検索してもらうことが出来、最新のテクノロジーを地域の防災活動に活かす良い実例を残すことが出来た。来年以降「六原あんしんあんぜんマップ」の更新については印刷物だけでなく、このようなデジタルでの情報更新も同時に行っていきたい。総合防災訓練では路地保全・再生セミナーを開催し今まで再建築不可とされてきた物件についても制度の運用見直しによって再建築が可能となる場合があり得る等制度の変更に関してレクチャーを実施した。